

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	12220	電話	769-8346
担当部課名	保健所	保健予防	課	感染症予防 班
事務事業名	エイズ予防対策事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
エイズに関する正しい知識の普及啓発をおこない、HIV感染の予防及びまん延防止、エイズ患者やHIV感染者に対する差別、偏見の解消を図る。	市民
	対象数 約610,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
普及啓発活動 ・講演会の開催 1回 ・エイズ予防コーナーの開設 3回 ・パンフレット類の配布 ・「第14回世界エイズデーかながわ」へ参画	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 相模原市保健医療計画	基本目標：健康づくりの実践により、生涯にわたる健康づくりを進めます 3疾病対策と健康づくり 感染症・エイズ予防と患者感染者支援 エイズ予防の普及啓発
計画年次 14年度～22年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	集客率	本年度観客数÷前年度観客数*100 H13:2,250人 H14:2,399人	観客動員数からエイズ予防コーナーのニーズをみる		781	107	110	110
	活動指標	本年度開催日数÷前年度開催日数*100 H13:7日 H14:5日	開催日数からエイズ予防コーナーのニーズをみる	64	71	100	100	

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	2,109	2,565	1,906	1,760	1,760
	人員・時間数	1.02人/年	1.02人/年	1.36人/年	1.36人/年	1.36人/年
	人件費	8,582	8,590	11,391	11,391	11,391
	その他経費					
	合計	10,691	11,155	13,297	13,151	13,151
特定財源	1,063	1,293	1,029	879	879	
対象数	600,000	610,000	610,000	610,000	610,000	
対象の単位あたり経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	平成12年度保健所開設以降各種イベントの主催者の協力を得て、エイズ予防コーナーを開催しているが、さらに協力体制をとっていく必要があると考えられる。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある HIV感染者の報告数は依然多く、患者・感染者に対する偏見や差別も存在する。そこで、ボランティアやNPO法人等と協力し、普及啓発活動を実施することは多くの市民にエイズを理解してもらい、予防及びまん延防止等を図るために重要なことである。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	エイズに関する正しい知識を得ることは、感染予防を含め、生涯にわたる健康づくりには欠かせないものである。
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 現在の予算、人員で多くの市民にエイズについて理解してもらうには、実施内容を対象者により効果的な方法を検討するなど一部改善の余地があるものとした。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	普及啓発活動については、一人でも多く、エイズについて理解し、そこには、性別・年齢等の区別はなく全市民が対象となるものである。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: ボランティアやNPO法人等との協力体制を充実していくことにより成果向上が期待できる。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 横須賀市実施状況 ・講演会の開催 ・エイズ健康教育の開催 ・パンフレットの配布 ・チラシの配布(イベント時等) ・世界エイズデーかながわの参画
	今後の進め方	
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 患者・感染者の増加の中で、予防及びまん延防止のため継続すべき事業である。ただし、普及啓発活動実施にあたり現状に合った方法を検討する必要があるため、また、マンパワーであるボランティアの育成やNPO法人等との協力体制は重要となるため、健康づくりの推進施策の中で検討していくことが必要である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--